

バランスドオーシャン事業

— 海洋分野のトップサイエンティスト早期発掘と育成プログラム —

北海道大学では、水産学部が中心になって、海や生き物を学ぶオンライン教材を集めたサイト“LASBOS”を立ち上げました。Learning and Study by Balance de Ocean Systemの頭文字を取りました。「北極の海」「練習船の調査」「SDGs」「卒業生の活躍」「水産学部の各学科」など、テーマで分類しています。

LASBOS
>>>>>



LASBOS YouTube

LASBOS Moodle

水産学部ではどんな研究ができるのか？研究紹介・研究手法のコースが参考になります。

LASBOS
Learning and Study by Balance de Ocean System

コレクションカード全33種
各地の水族館・博物館、函館市内の飲食店などで配布予定。大学を身近に！あなたは何かゲットできるかな。

SNS
Twitter Instagram Facebook

北極域研究加速プロジェクト

ArCS II: Arctic Challenge for Sustainability II



海氷上にできたメルトポンド(水溜り)の観測風景(2020年9月北極点付近、野村大樹撮影)

北極の海の
研究紹介
>>>>>



ArCS IIは、文部科学省の補助事業として、国立極地研究所、海洋研究開発機構、北海道大学の3機関が中心となって実施する、我が国の北極域研究のナショナルフラッグシッププロジェクトです。水産学部は、「北極海環境動態の解明と汎用データセットの構築」および「北極域における沿岸環境の変化とその社会的影響」というテーマにおいて中心的な役割を果たしています。附属練習船「おしよ丸」による北極海観測、海外の砕氷船を利用した国際共同観測、冬季サロマ湖での氷上訓練・教育実習などにより、北極生態系の変化の把握や次世代の極域研究者の育成を目指しています。さらに、社会科学系研究者と連携して、将来の北極生態系の変化の社会的影響を評価し、一般社会や北極周辺国への貢献を目指しています。

函館マリカルチャープロジェクト

地方大学・地域産業創成交付金事業(内閣府)

水産学部が立地している函館市で、キングサーモンとコンブの完全養殖をあわせて行う「地域カーボンニュートラル」養殖研究を推進し、現場での教育研究により企業と若者を集め地域に定着させることで、持続可能な水産・海洋都市を実現する事業です。この事業では、アントプレナシップ(起業家精神)教育や、現場での実践教育が経験できるプログラムが開講される予定です。皆さんの学びの可能性が広がります。



Fish of the Month

海洋生物の最新情報をWeb発信するプロジェクト。民間企業の協力のもと、「地球に海があり多様な生物が共存することのすばらしさ」を学んでもらうために制作。コンブ、鮭鱒、海鳥、ナマコ等海洋生物のアカデミックで読み応えのある記事を、綺麗な写真とともに掲載しています。

FoM ≡

